

## 議 事 概 要

1 会 議 名	令和5年度第1回太宰府市総合交通計画協議会												
2 開 催 日 時	令和6年2月21日（水）10:00～11:00												
3 開 催 場 所	太宰府市役所 4階大会議室												
4 出 席 者 名	<p><b>【委員】</b> 大枝委員（会長）、中島委員、草場委員、高木委員、山下委員、齋藤委員、山口委員、楠田委員、八尋委員（副会長）</p> <p><b>【関係人】</b> 荒卷氏（西日本鉄道（株））、松石氏（国土交通省）、山形氏（福岡県）、中川氏（HOTEL CULTIA 太宰府）</p>												
5 議 題	<p><b>【議事】</b> 議題 太宰府市総合交通計画（案）について</p>												
6 内 容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%; vertical-align: top;">事務局</td> <td>(開会挨拶)</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">原口副市長</td> <td>(挨拶)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(傍聴人入室)</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">事務局</td> <td> <p>議事に入ります。進行につきましては、太宰府市総合交通計画協議会規則第6条の規定により大枝会長をお願いいたします。</p> <p>それでは、大枝会長よろしくをお願いいたします。</p> <p><b>【議題 太宰府市総合交通計画（案）について】</b></p> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">事務局</td> <td>(資料説明)</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">大枝会長</td> <td> <p>最新データの再分析、交通を取り巻く社会情勢を踏まえ、検討していた総合交通計画の体系の見直しが実施されている。</p> <p>太宰府市は、多くの方々がお越しになられるため、事務局から今後考慮すべき事項の1つとして国内におけるオーバーツーリズム対策といった内容も説明があった。コロナ禍で激減した来訪者が戻りつつあるため、以前より道路環境が悪化する可能性もある。</p> </td> </tr> </table>	事務局	(開会挨拶)	原口副市長	(挨拶)		(傍聴人入室)	事務局	<p>議事に入ります。進行につきましては、太宰府市総合交通計画協議会規則第6条の規定により大枝会長をお願いいたします。</p> <p>それでは、大枝会長よろしくをお願いいたします。</p> <p><b>【議題 太宰府市総合交通計画（案）について】</b></p>	事務局	(資料説明)	大枝会長	<p>最新データの再分析、交通を取り巻く社会情勢を踏まえ、検討していた総合交通計画の体系の見直しが実施されている。</p> <p>太宰府市は、多くの方々がお越しになられるため、事務局から今後考慮すべき事項の1つとして国内におけるオーバーツーリズム対策といった内容も説明があった。コロナ禍で激減した来訪者が戻りつつあるため、以前より道路環境が悪化する可能性もある。</p>
事務局	(開会挨拶)												
原口副市長	(挨拶)												
	(傍聴人入室)												
事務局	<p>議事に入ります。進行につきましては、太宰府市総合交通計画協議会規則第6条の規定により大枝会長をお願いいたします。</p> <p>それでは、大枝会長よろしくをお願いいたします。</p> <p><b>【議題 太宰府市総合交通計画（案）について】</b></p>												
事務局	(資料説明)												
大枝会長	<p>最新データの再分析、交通を取り巻く社会情勢を踏まえ、検討していた総合交通計画の体系の見直しが実施されている。</p> <p>太宰府市は、多くの方々がお越しになられるため、事務局から今後考慮すべき事項の1つとして国内におけるオーバーツーリズム対策といった内容も説明があった。コロナ禍で激減した来訪者が戻りつつあるため、以前より道路環境が悪化する可能性もある。</p>												

	<p>大きく分けて基本方針が3つ掲げられているため、方針1「円滑で快適な交通環境の構築」からご意見・ご質問等を賜りたい。</p>
委員	<p>コロナ禍以降の状況を把握できてなかったため、太宰府市内の状況を見てきた。</p> <p>観光客が多く、賑わっていたが、一方で太宰府天満宮だけに観光客が集中しており、史跡地などの観光資源を巡られていないことがもったいないと感じたため、観光ルートを整備する等は有効ではないかと考えている。</p> <p>観光ルートを整備しながら滞在が可能となる場所の整備や、他の観光地を巡ってもらい滞在時間を延ばすために、観光ツアーや代理店と観光ルートを変えていくような協力を依頼することも考えてはどうか。</p> <p>また、バス等の車を流入するルートを変えると、観光の楽しみ方を変えるきっかけとなる。ハード整備を含めて既存の観光戦略と連携した観光の楽しみ方を変えるための観光ルートの創出を実施していかなければ、道路の整備のハードや渋滞緩和の施策だけでは追いついていかない。</p>
オブザーバー	<p>現在、第2次観光推進基本計画を作成している状況となる。本年度末に、完成を目指しており、委員ご意見の観光ルートの整備は重要な戦略だと認識している。</p> <p>計画の中にも観光ルートの整備等の戦略を盛り込み、次年度以降に施策の展開していくため、準備をしている段階であり、交通渋滞の緩和につなげていくことができるように計画を推進していきたい。</p>
委員	<p>鎌倉市など他の観光地でもあらゆる施策を展開して、周遊に繋がり賑わっているところもある。是非参考にすることで良い観光地となってもらいたい。</p>
大枝会長	<p>既存の観光資源を使った観光ルートの整備等は、事業・プロジェクトの中に関係するものも多くある。</p>
委員	<p>出雲市では、駐車場の位置を変えたことによって人が歩くようになり、そこにたくさんカフェができた事例のように、門前町の事例もたくさんある。</p> <p>駐車場で変わるまちづくりも必要な視点と感じている。</p>
大枝会長	<p>単に道路を整備するだけではなく、駐車場の配置も考えながら、観光客をどのように誘導するか、観光資源と他の施策等をどのように連携させていくか。その辺は、太宰府市の強みでもあり、そういった考え方を取り入れながら、総合交通計画を考えていきたい。</p>
委員	<p>委員の意見のとおりと感じた。</p> <p>関連した質問になるが、駐車場の位置が根本的に車の流入量を減らすことに繋がる大きな重点項目ではないかと考えている。車の流入量が減れば、それだけ渋滞も緩和されるのは明白。</p>

	<p>現在、駐車場が太宰府天満宮周辺に集中しているため、分散することができたら天満宮周辺の渋滞は緩和されるとはずだと思っている。</p> <p>今まで市として、天満宮周辺の小さな駐車場も含め、天満宮の大規模駐車場の移転先や、移転候補地の選定等を実施したことはあるか。実施したことがない場合、市として移転候補地を考えること自体が難しいか。</p>
オブザーバー	<p>記憶してる限り市で検討したことはない。</p> <p>現在の取り組みとして、年末年始は公共施設を活用して臨時駐車場を設置している。例えば、総合体育館の駐車場を開放することで、パークアンドライド駐車場としてご利用していただき、西鉄都府楼前駅からの電車で太宰府天満宮へお越しいただけるようになっている。</p>
委員	<p>JR 都府楼南駅の筑紫野市側に広い土地があるが、駐車場移転の候補地として考えられないのか。</p>
オブザーバー	<p>委員ご意見の場所から徒歩のみで太宰府天満宮へお越しいただくのは距離があるため、交通事業者等と2次交通についても併せて検討する必要があると考えている。</p>
大枝会長	<p>駐車場の問題が交通渋滞を緩和する事例もあり、委員ご意見の観光資源を充実したものにすることも可能であるため、十分検討していく必要がある。</p>
委員	<p>観光客の行動を変えようとする場合、観光客へメリットを提供していかなければならない。</p> <p>また、いろんな施策や事業を実施する際、1つ1つ実施していくのではなく、他の施策や事業が連携しながら、一緒にやっていくことが大切だと思う。</p> <p>駐車場の位置を変える際、駐車場の位置を設定したあとは、オブザーバーのとおりそこからどのように移動してもらうかということを考えていかなければならない。そのためのモビリティを自転車にするのか、もしくは鉄道の駅に準備するのかなど。乗り換えやすい場所となれば、西鉄五条駅や西鉄二日市駅が候補になると思うが、まちづくり、拠点づくりなどと一緒に実施していく。その際、市が所有している資産を活用すると進めやすく、便利な場所を実施していくからこそ、観光客も行動を変え、拠点が賑わっていると車を止めて行こうかなといった行動に繋がっていくと思う。</p> <p>そういったことをトータルで考えていくことが重要ではないかと考えている。</p>
事務局	<p>委員ご意見のとおり、単体の事業だけではなく、先ほど説明の中でもお伝えしたまちづくり計画としている他の個別計画や事業とも連動・連携していくように考えている。</p> <p>都市計画分野としては、立地適正化計画や地域公共交通計画、この総合交通計画で連動・連携した形も考えていきたい。</p>
委員	<p>MaaS の取り組みを事業・プロジェクトとして掲げてある。是非、協力できることが</p>

	<p>あれば頑張っていきたい。</p>
大枝会長	<p>他にご意見・ご質問等はないか。 なければ、方針2に進めていく。 方針2「安心安全な交通環境の構築」についてご意見・ご質問等を賜りたい。</p>
委員	<p>住民の中でも10代の方の通学、中高大の生徒や学生への配慮が大事になってくるため、情報を上手く入手し、入手した情報を活用して、安全な徒歩と自転車空間を作っていくことがとても重要となる。</p> <p>情報の入手方法だが、スマートフォン等を活用し「どこからどの学校に行くか」や「何時にどこを通るか」さらには「どこが危ないと感じているか」等を確認することが可能であるため、ニーズに合わせたネットワーク計画を作成することができ、利用者の情報から選択と集中という手法も可能となる。</p> <p>そういった情報の入手方法の開発は、徒歩と自転車のみならず、公共交通の路線の検討等にも活用できるため、毎年1回でも情報を入手しながら更新をし、ニーズに応じた道路空間が確保できるようになってくる。</p> <p>観光客の方も、レンタサイクルの情報からニーズ等も把握することも可能かと考えられる。</p> <p>集めた情報やデータを活用してPDCAを回しながら、道路空間整備を検討していくとより良いものになる。</p>
事務局	<p>委員ご意見の生徒・学生やレンタサイクル利用者の情報収集について、前回からご意見いただいたため、そういったものを検討しながら、事業・プロジェクトを考えていきたい。</p>
大枝会長	<p>詳しい動態調査をしていながら、道路や自転車の整備を検討していくことは重要となる。是非、取り入れていただきたい。</p>
委員	<p>歩行者、自転車空間の確保は、交通管理者としても非常に大事なところと認識している。基本的に現在の道路が昔の規格のため、自転車の通るところがない状況。特に西鉄太宰府駅周辺では、細い歩道で歩行者同士がすれ違いにくい箇所でも自転車が走行している。</p> <p>資料にもある浦之城橋周辺は、非常に混雑しているため、交差点内に駐停車できないように、カラー舗装を実施した。最初は効果があったが、効果が薄れてきている状況。過去に、交差点内で駐停車できないように看板を付けることを検討したが、バスやトラックのミラーが、看板に当たってしまうため断念したことがある。</p> <p>自転車ネットワークの道路の検討が管内で進んでいない状況。道路管理者が整備を検討する際、自転車ネットワークの道路が重点的に整備を進めていく場所となっている。今の規格に適合させる場所を決めることは難しいが、色々なツールを活用し、安全な道路を準備する必要がある。また、土地を準備するといった大きな話しになっていく</p>

	<p>が、自転車ネットワークの道路を検討し、安全に自転車が通れるように整備を進めていく必要もある。</p> <p>自転車と歩行者との事故が多く、歩行者が亡くなったりしているため、警察として自転車の安全利用に向けた取り組みを検討しており、国もヘルメットの着用義務等を進めている。</p> <p>短期間で実施できることではないが、自転車ネットワークの道路の検討、自転車空間の整備については、学校との連携やシェアサイクル等の導入を検討していくためにも、安全安心に通れる道路の整備を一緒に考えていきたい。</p>
事務局	<p>委員のご意見のとおり、安全な道路整備は短期間で実施できるものではなく、当然ながら市だけで実施できる事業でない部分もあるため、国・県とも共有しながら検討を進めていきたい。</p>
大枝会長	<p>総合交通計画は、都市計画マスタープランに関係する計画となる。歩行者・自転車空間を先に確保しておく必要があるといった委員からのご意見は、都市計画マスタープランにも大きく関係してくる。</p> <p>今後も総合交通計画を検討していくが、自転車ネットワークの道路を確保することに関しては、あらかじめ都市計画マスタープランで考え方を示しておく必要があり、都市計画マスタープランの方針を取り入れながら、改めて総合交通計画を検討していくことが必要となってくると考えられる。</p> <p>方針2について、他にご意見・ご質問等あるか。</p> <p>なければ、方針3についてご意見・ご質問等を賜りたい。</p>
委員	<p>公共交通の利便性の向上は、ニーズ調査をしっかりと実施する必要がある。また、基本的な調査と多くのデマンド交通のサービスのうち、どのサービスが良いかシミュレーションし、組織を作って導入を検討していくことが重要。</p> <p>交通結節点では、待つ空間が整備され楽しい場所だったり、いろんなイベントが行われていたり、トレンドを踏まえて、検討を進めていく必要があると思っている。</p>
事務局	<p>交通結節点の機能強化については、駅周辺の利便性向上の検討を考えている。公共交通の利便性の向上については、乗継利便性及びバス待ち環境の向上やMaaS等も検討している状況となる。委員ご意見のとおりニーズ調査等も踏まえながら事業を検討していきたい。</p>
委員	<p>ノーマイカーデーに推奨は良いことではあるが非常に難しいと感じた。</p> <p>実施に向けては、自家用車が使えないと困る人、自家用車がない人も含めて公共交通の割引や無料にする取り組みと一緒に実施してはいかがか。</p>
事務局	<p>ノーマイカーデーを過去に推奨した時期がある。しかし、自動車・マイカーの便利さに慣れてしまっているため、委員ご意見のとおり、付加価値をつける形で取り組みがで</p>

	きないか今後検討していきたい。
委員	ニーズ調査については、観光客の方が多いので例えば駐車場で把握することは可能かもしれない。遠方から来られる方もいるので、傾向を掴むことができれば設問やヒアリング内容を決めることができる。
大枝会長	地方で地域公共交通が衰退している中で、観光客に公共交通を利用させていただくと比較的収益が上がるはず。太宰府市は観光地なので、観光ルートの整備も含めて公共交通への利用転換を上手く図ることができれば、渋滞問題も解決するのではないか。
委員	太宰府市はコンパクトなまちなので、利用者実態は観光客でも把握できるため一緒に考えていきたい。
委員	公共交通利用料を安くという大切な視点のご意見があったが、逆に中心部まで入っていることを抑制することを考えてみてはいかがか。 中心部まで車で行くと料金が高くなる制度を検討し、その財源をオーバーツーリズム等の対策に充てるなど、財源を生み出していく考え方も有効であり、太宰府市なら実現できるのではないかと思う。 料金が高くなっても車で来る方はいるため、そういった方たちからお金をいただいて、そうではない方には車以外でお越しいただくといった、有名な観光地であるからこそ実施できる政策がある。
事務局	委員ご意見のとおり、多くの観光客の方にお越しいただいている中で渋滞の問題について、住民や市にメリットを与えるような提案についても、今後検討していきたい。
大枝会長	ご意見・ご質問等がなければ、本日の議事を終了するがよろしいか。
委員全員	意見なし。
大枝会長	なければ進行を事務局へお返しする。
事務局	(閉会挨拶)